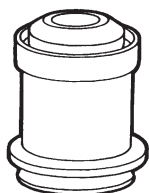


U-DCW/U-DCD

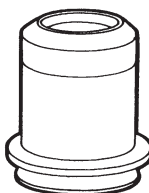
取扱説明書

この装置はUIS光学系を採用しておりますので、一緒に使用される顕微鏡、鏡体、接眼レンズ、対物レンズなどはUIS光学系シリーズをご使用ください。組み合わせが合っていないと、性能が発揮できません。

1 外観及び仕様



U-DCW



U-DCD

仕 様	U-DCW	U-DCD
開 口 数 (NA)	1.2~1.4	0.92~0.8
作 動 距 離 (WD)	0.5mm (スライドガラス1.0mmの時)	4.52mm
焦 点 距 離 (f)	7.8mm	11.8mm
使 用 可 能 対 物 レ ン ズ	20×以上の対物レンズ (FN26.5) ★20×のみFN22	10×~40×の対物レンズ (FN26.5) ★10×のみFN22
適 用 鏡 基	BX	
制 限 条 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絞りのない対物レンズで開口数が1.2以上の対物レンズは使用不可 ・ 絞り付きの対物レンズは絞りを絞って開口数が1.2以下になるようにして使用できます。 ・ FN26.5の観察では20×対物レンズ使用時、周辺光量不足が発生します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ FN26.5の観察では、10×対物レンズ使用時、周辺光量不足が発生します。

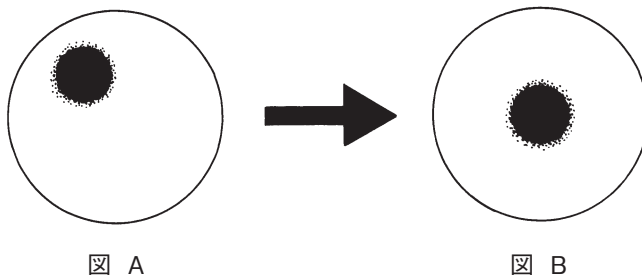
2 取付け方と心出し

- 1) 鏡体のコンデンサ受けを十分に下げ、取付いていたコンデンサを取外し、暗視野コンデンサに交換します。
- 2) 液浸系暗視野コンデンサ(U-DCW)上端にイメージンオイルを滴下し、標本をステージに静かにのせます。コンデンサの上端とスライドガラスの間がイメージンオイルで完全に満されていることを確認してください。

◎乾燥系暗視野コンデンサ(U-DCD)の場合はこの操作は不要です。

- 3) 対物レンズ10×で標本にピントを合わせます。

- 4) 接眼レンズを覗きながら、コンデンサをコンデンサ上下動ハンドルで静かに上下させ、円状の黒点が見えるようにします。(図A)
- 5) コンデンサ心出しつまみにより、円状の黒点を中心にもってきます。(図B)
これで心出しが終了しました。



- 6) 必要な対物レンズを光路に入れて、コンデンサ上下動ハンドルで、良好な暗視野像が得られるよう調整して、暗視野観察を行ってください。
★絞り付き対物レンズ使用の場合は、光漏れのない状態まで絞り込んで使用します。

3 使用中に生じた問題とその処置

現 象	原 因	処 置
コンデンサを上端まで調整しても、暗視野効果が不十分。	対物レンズのN. A. が合っていない。 絞り付き対物レンズの絞りが調整されていない。	その対物レンズは使用できませんので、N. A. が合致している対物レンズに交換するか、絞り付き対物レンズを使用して調整してください。
	液浸系暗視野コンデンサ (U-DCW) の時、イメージンオイルを付けていない。	イメージンオイルを付ける。
	イメージンオイルに泡が入っている。	イメージンオイルを付けなおす。
	標本が汚れている。	清掃する。